

事後評価概要資料

| | | | | | |
|-----------|--|---|------------|-------------|--------------------|
| 番号 | 2002 | 担当課名 河川砂防課 | | | |
| 事業名 | 床上浸水対策特別緊急事業 | | 事業主体 | 埼玉県 | |
| 路線・河川・地区名 | 一級河川 不老川 | | 事業箇所 | 川越市、狭山市、入間市 | |
| 事業完了年 | 平成23年3月 | | 事業完了後の経過年数 | 5年 | |
| 事業概要 | 目的 | ネック橋梁及び河道の改修を実施し、早期に浸水被害の軽減を図る。 | | | |
| | 必要性 | 平成10年8月の豪雨において、床上浸水27戸、床下浸水158戸となる被害が発生しており、早期の治水安全度の向上が必要である。 | | | |
| | 効果 | 平成10年8月の豪雨と同規模の降雨において、浸水被害が大きく軽減された。 | | | |
| | 事業内容 | 総事業費 | 5,872百万円 | 事業期間 | 平成17年度～平成22年度(6年間) |
| | | 河道改修4.4km、西武新宿線橋梁架換、国道463号大橋架換 | | | |
| 事業概要図 | | | | | |
| 事後評価項目 | 事業の効果の発現状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 同規模雨量での洪水を比較すると、河川整備により浸水被害が大きく軽減 H10年8月豪雨：1時間雨量39mm、総雨量210mm、→床上浸水27戸、床下浸水158戸 H27年7月(台風11号)：1時間雨量34mm、総雨量213mm、→床上・床下浸水なし | | | |
| | 効果分析の要因の変化 | 事業認可時との比較 <ul style="list-style-type: none"> ・ 総事業費 6,020百万円 → 5,872百万円 ・ 事業完了年 平成21年度 → 平成22年度 ・ B/C 3.5 → 3.5 (増減なし) | | | |
| | 事業実施による副次的効果 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 多自然川づくりによる景観性の向上。 | | | |
| 評価結果及び考察 | (評価結果) <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業によって、同程度の降雨による浸水被害の軽減が確認された。 ・ 副次的効果として、多自然川づくりを取り入れた整備によって、景観性が向上した。 (考察) <ul style="list-style-type: none"> ・ 床上浸水被害を軽減する事業として、床上浸水対策特別緊急事業が浸水被害の軽減に対して有効であることが明らかとなった。 ・ 事業効果は発現しており、今後も事業の有効性が見込まれることから、今後の事後評価及び改善措置の必要性はない。また、事後評価の結果、同種事業の計画調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性はない。 | | | | |
| 特記事項 | | | | | |